

鹿児島大学工学部先進工学科（令和2年度開設）  
学生の確保の見通し等を記載した書類

## 目 次

1	学生の確保の見通し及び申請者としての取組状況	1
(1)	学生の確保の見通し	1
①	定員充足の見込み	1
②	定員充足の根拠となる客観的なデータの概要	1
③	学生納付金の設定の考え方	2
(2)	学生確保に向けた具体的な取組状況	2
2	人材需要の動向等社会の要請	2
(1)	人材の養成に関する目的その他の教育研究上の目的	2
①	人材養成に関する目的	3
②	教育研究上の目的	3
(2)	社会的、地域的な人材需要の動向等を踏まえたものであることの客観的な根拠	4
①	実施したアンケート調査に基づく分析	5
②	アンケート調査の概要	6
③	アンケート調査の結果について	7

## 資料目次

資料 1	「工学部改革のためのアンケート」(本学学部生対象)	14
資料 2	「工学部改革のためのアンケート」(高校生対象)	17
資料 3	「建築学科に関するアンケート」(高校生対象)	22
資料 4	入学者数、志願者数等の実績(過去5年間)	29
資料 5	前期日程の入学者数、志願者数等の実績(過去5年間)	29
資料 6	就職者数、就職率の推移(過去5年間)	30
資料 7	卒業生の就職状況(過去5年間)	31

## 1 学生の確保の見通し及び申請者としての取組状況

### (1) 学生の確保の見通し

#### ① 定員充足の見込み

令和2年度における先進工学科の入学定員は、入口のニーズと出口のニーズを調査した結果に基づき、機械工学プログラム94名、電気電子工学プログラム78名、海洋土木工学プログラム48名、化学工学プログラム35名、化学生命工学プログラム50名、情報・生体工学プログラム80名を合計した385名、建築学科の入学定員は55名、工学部全体では440名とする。過去5年間における先進工学科に相当する6学科、及び建築学科において定員充足が問題なく行われていること、高校生を対象に行ったアンケートにおいて、先進工学科6プログラム、建築学科1プログラムの全てにおいて進路希望が十分に存在することから、定員を充足する見込みがあると判断される。

#### ② 定員充足の根拠となる客観的なデータの概要

資料4に示す平成26年～平成30年度の工学部入学者数・志願者数等の実績において、先進工学科に相当する6学科総合分の志願倍率は2.5～3.1、入学者は397名～409名、定員充足率は1.0～1.1、建築学科の志願倍率は3.4～4.5、入学者は58名～63名、定員充足率は1.1であり、いずれも先進工学科385名、建築学科55名以上を充足している。一方、定員超過率は0.1倍以下に抑えられている。

鹿児島大学で就学中の学生が存在する全ての高校を対象に行ったアンケート結果の分析結果を以下に述べる。

まず2Aより、全体のうち29%の生徒が国立大学工学部を志望している。そのうち鹿児島大学工学部の受験に興味があると答えた生徒の割合は58%であり(2B)、鹿児島大学工学部への志願者が充分に見込める状況である。2Cより、(1)工学部の「ものづくり」への興味(40%)、(3)新しい部品開発などのイノベーション創出(18%)、(5)全国・海外での活躍などに繋がるグローバル化(5%)、などを工学部選択の理由に挙げており、工学部・学科の3ポリシーと合致している。一方、2Dに示す通り工学部に興味を持たない層では、工学部を敬遠する理由として(1)地元に残る可能性の低さ(14%)、(2)収入の低さ(14%)を挙げている。そのため、広報活動などを通してこの工学部に対する誤解を払拭していくことで、工学への興味を惹起できる可能性を残している。更に3.学んでみたい工学分野について、機械工学、電気電子工学、海洋土木工学、化学工学、化学生命工学、情報・生体工学、建築学の分野とも7%～20%の割合となっており、全ての分野において十分なニーズがあることが示されている。

一方出口に関しては、求人件数の資料に示す通り、各分野において就職希望者数の10倍前後の求人数があることから、出口に関しても十分なニーズが存在する。

収容定員数に関しては、この入口・出口のニーズの把握に基づき、適切に設定する。

### ③学生納付金の設定の考え方

学生納付金の額は、「国立大学等の授業料その他の費用に関する省令」に則り、本学が定める「鹿児島大学における授業料その他の費用に関する規則」に基づき設定する。

## (2) 学生確保に向けた具体的な取組状況

県内高校の進路指導担当教員を招いての入試説明会を例年7月に実施することにより、学部・学科の特色、進路状況などを詳細に説明し、進路指導を通して受験生への情報伝達を行ってきた。また高校における出前講義や工学部説明会などの機会を利用して、工学部・学科の教育研究内容を紹介している。

(訪問：<https://www.eng.kagoshima-u.ac.jp/exam/schoolvisit/>)

(出前授業：<https://www.kagoshima-u.ac.jp/exam/demae.html>)

高校生、高校教員、PTAによる大学訪問も受け入れており、学部説明、体験講義、キャンパス案内などを通して工学部の理解を深めている。

(<https://www.kagoshima-u.ac.jp/exam/houmon.html>) オープンキャンパスは夏季(8月)、秋季(11月)の年2回実施し、工学部の沿革・特色、各学科の教育研究内容・進路状況、入試方式を来訪した学生・保護者に説明すると共に、体験講義や学生による研究展示により、「ものづくり」の楽しさを体験できる機会を提供している。

(8月：[https://www.eng.kagoshima-u.ac.jp/opencampus/h30\\_report/](https://www.eng.kagoshima-u.ac.jp/opencampus/h30_report/))

さらに、受験情報業者開催の九州圏内の合同説明会にも参加を開始しており、幅広い層への情報の浸透を図っている。これらの取組は改組後も継続的に実施していく。また首都圏など入試説明会やオープンキャンパスに参加が困難な学生確保に向け、工学部・学科・プログラムのホームページを介して工学部・学科・プログラムの教育研究上の特色、魅力をアピールする活動を継続して行っていく。受験生対象の特設サイトを平成29年度に構築しており、この改善を進めることで工学部の認知度の向上を達成する。

(受験生サイト：<https://www.eng.kagoshima-u.ac.jp/examspecial/>)

## 2 人材需要の動向等社会の要請

### (1) 人材の養成に関する目的その他の教育研究上の目的

工学部、先進工学科、建築学科の人材養成に関する目的、教育研究上の目的を以下に纏めて示す。

## ① 人材養成に関する目的

### 【工学部】

1. 主体的に倫理観、価値観に対する理解を深め、多様な文化・社会・自然の係わり・工学関連分野全体を総合的に把握し、専門領域を超える諸課題に挑戦することができる人材
2. 工学基盤、及び各専門分野における体系的学修、分野を横断する学際的学修により、知識活用力、論理的思考力、課題探究力、問題解決力、情報発信力、コミュニケーション力、生涯学習力、創造的思考力、就業力等を、地域社会及び国際社会において発揮できる人材

### 【先進工学科】

1. 専門分野の基礎知識を体系的に修得すると共に、複数分野の融合領域を把握することによる、イノベーション創出のための基盤的な理解力、創造的思考力を有する人材
2. 高度情報化社会を生き抜くための情報基盤力を有する人材
3. 工学分野全体を把握し、幅広い視野で諸課題に挑戦し問題解決する能力を有する人材
4. 技術者の使命感と倫理観を持って地域社会及び国際社会において活躍し続けるためのコミュニケーション力、デザイン力、実社会における課題解決能力を有する人材

### 【建築学科】

人類の建築文化の遺産を継承し、地球環境の保全に配慮しながら、建築空間と生活環境の創造に貢献できる人材を育成

## ② 教育研究上の目的

### 【工学部】

1. 幅広い視野と多様な価値観を育み、進取の精神を有する技術者・研究者としての豊かな人間性と倫理観を得させるため、教養教育を実施
2. 高等学校教育からの連続性に留意しつつ、各専門分野の基礎から応用までの理論・技能を修得し発展させるための汎用的な専門能力を得させるため、分野基盤教育、専門教育を実施
3. 工学知識・技術を発展させ新しい価値を創造する学際的な専門能力を得させるため、複数の専門分野の融合領域を理解するための専門教育を実施
4. 学修した知識・技能・学習方法等を総合的に活用し、諸課題の解決に応用する能力を育成するため、工学分野全体を把握させる教育、研究活動を礎とする教育を

展開

5. 高度情報化社会を生き抜くための情報基盤力を修得するため、基盤情報教育を実施
6. 地域社会及び国際社会において進取の気風をもって活躍できるよう、コミュニケーション能力、生涯学習力、創造的思考力、就業力を向上させる教育を推進

#### 【先進工学科】

1. 専門分野の基礎・基盤を修得する教育と共に、複数分野の融合教育を推進することにより、イノベーション創出のための基礎的学力、創造的思考力を修得する先進的な教育を実施
2. 高度情報化社会を生き抜くための情報基盤としての数理・データサイエンス基礎力を修得する教育を実施
3. 工学分野全体を把握し、幅広い視野で諸課題に挑戦するための教育を実施
4. 継続的に地域・国際社会で活躍するための就業力、コミュニケーション能力、デザイン力、実社会における課題解決能力を身につける教育を実施

#### 【建築学科】

1. 建築技術者としての使命感と倫理観を持ち、幅広い視野に立って多面的に建築を考えることができる能力を養成
2. 建築分野の基礎から応用までの理論・技能を修得し発展させるための汎用的な専門能力を基盤教育、専門教育により養成
3. 建築における基本的な考え方を理解し、工学技術と人文社会科学・芸術の知識を応用することができる総合力を養成
4. 新しい建築文化や建築技術の創造へつながる自主的・継続的学習能力及びエンジニアリング・デザイン能力を養成
5. 高度情報化社会を生き抜くための情報基盤力を修得
6. 地域社会及び国際社会の建築に関する場で活動できる情報発信力、コミュニケーション力とチームで仕事をするための能力を養成

(2) 社会的、地域的な人材需要の動向等を踏まえたものであることの客観的な根拠

第4次産業革命の潮流のなか、第5期科学技術基本計画において我が国が目指すべき未来社会の姿として Society 5.0 が提唱され、「日本再興戦略－JAPAN is BACK」

(H25/6/14 閣議決定)における理工系人材育成戦略策定、産学官円卓会議の開催など理工系人材に対するイノベーション創出の期待が高まっており、また地域活性化の教育研究拠点として、地域が抱える諸問題の解決が期待されている。工学部、先進工学科、建築学科、及び各プログラムで養成する人材像、教育研究上の目的は、これらの

要請に沿ったものとなっている。

卒業者の進路状況資料に示す通り、各分野の就職率、進路決定率はほぼ100%、不安定雇用率は3%前後である。平成24～29年度の求人数の推移資料に示すように、工学部全体では、平成24年度の景気の谷においても2,000件弱、通常期は4,000件前後の求人数であり、機械工学、電気電子工学、海洋土木工学、化学工学、化学生命工学、情報・生体工学、建築学、全てのプログラムにおいても卒業生数を大幅に上回る求人数であることから、社会的ニーズが充分存在する状況にある。

### ① 実施したアンケート調査に基づく分析

#### A. 在校生対象のアンケート

括り入試の導入に関しては1年生の48%、2年生の56%が出願したと回答しており、必要性が高いことが示されている（P7 設問1）。融合教育に関しては、1年生の50%、2年生の48%が履修に興味があると回答している（P7 設問2A）。この結果は専門分野の硬直化を解消しイノベーション創出のための基礎学力養成を推進する融合教育に十分な学生ニーズが存在すること、年次が上がると専門性の強化に対する意識が向上することを示している。分野に関しては1年生が6%～23%、2年生が9%～21%であり（P7 設問2B）、工学部の7分野全てにおいて自分の専門分野以外にも関心を持っていることが示されている。

#### B. 高校生対象のアンケート

今回のアンケートでは、鹿児島県の高校生約45,000人（1学年あたり約15,000人）のうち、約2,600人（約6%）からの回答を得た。

「工学部改革のためのアンケート」からは、国立大学工学部を志望するのは29%であり、このうち鹿児島大学工学部に興味を持つ層が58%（全体からでは23%）である（p.8、設問2A、2B）。アンケートの回収率を考えると、単純計算では鹿児島県の高校生の1学年あたり3,000人以上の生徒が鹿児島大学工学部に対して興味を持っている可能性を示すものである。また、全体でも工学部に興味を持つ層でも工学7分野は満遍なく関心が持たれていることも示された（p.9、設問3）。本結果は、鹿児島大学工学部の7分野に対して十分なニーズが存在することを示している。

一方「建築学科に関するアンケート」では、全体の33%が建築分野に興味があることがわかり（p.10、設問A）、建築学科に対する大きな期待が示された。またそのうちの4割弱は従来の理系（工学部等）の建築系学科で建築分野を学べると認識している一方、約2割の学生は生活科学・環境科学等の住居系学科/コース、約3割の学生は芸術系の建築や環境デザイン系の学科/コース、約1割の学生は文系（経済学部・政策学部等）の都市計画、まちづくり系の学科/コースでも同分野を

学べると認識しており（p. 10、設問B）、本改組で建築学科に導入する総合力養成科目へのニーズを示している。建築分野志望者の志望先としても、5割弱が従来の理系（工学部等）の建築系学科を選択する一方、約2割は生活科学・環境科学等の住居系学科/コース、約3割の学生は芸術系の建築や環境デザイン系の学科/コース、約1割の学生は文系（経済学部・政策学部等）の都市計画、まちづくり系の学科/コースを志望先として考えると回答した（p. 10、設問C）。一口に建築分野への志望といっても幅があり、建築分野を志望する学生でも約半数は理系（工学部）の建築系学科以外を視野に入れていることが分かった。こうした幅の広さに建築学科のアドミッションポリシーを対応させれば、潜在的な志望者の掘り起こしにつながる。こうした建築分野関連学科と理系（工学部等）の建築系学科との併願についても一定程度の可能性を見いだせるが（p. 11、設問D,E）、その一方で併願は難しいとする回答のなかに「受験の準備がしにくいから」「自分のレベルにあった志望校を見つけにくい（地元にない等）」という回答が、合わせて4分の1程度にのぼった（p. 11、設問E）。これは鹿児島県内に生活科学、環境科学等住居系の4年制学科、あるいは芸術系の建築学科が存在しないこともその理由にあることが考えられる。こうした状況を踏まえた適切な入試改革と広報により、鹿児島大学建築学科への志望者を新たに確保できる可能性があると考えられる。

## ② アンケート調査の概要

### A. 在校生アンケート

工学部に所属する1年生501名、2年生519名（平成30年11月現在）を対象に、大括り入試の導入と融合教育に関する調査（工学部改革のためのアンケート：資料1）を行い、1年生306名、2年生316名の回答を得た。

### B. 高校生アンケート

工学部に学生が入学している鹿児島県内の全高校を対象に調査を実施した。アンケートは、工学部全体に関する調査（工学部に関する興味、工学の分野に関する興味、工学部改革のためのアンケート：資料2）と、建築学科に関する調査（建築に関する興味、建築学科に関するアンケート：資料3）の2種類を送付した。その結果、38校から2618セットの回答を得た。



③ アンケート調査の結果について

A. 在校生アンケート（工学部改革のためのアンケート）

1. 大括り入試の導入に関する設問

もし入学時に大括り入試が選択できた場合、出願しましたか？

	1年	2年
(1) 出願した	48%	56%
(2) 出願しなかった	20%	15%
(3) わからない	32%	29%

2. 融合教育に関する設問

A. もし融合教育授業が選択できた場合、履修に興味がありますか？

	1年	2年
(1) 興味ある	50%	48%
(2) 興味なし	25%	28%
(3) わからない	25%	29%

B. あなたが自分の専門分野以外で学んでみたい分野があれば、選択してください。（複数回答可）

	1年	2年
(1) 機械工学分野	12%	11%
(2) 電気電子工学分野	12%	9%
(3) 建築学分野	23%	21%
(4) 化学工学分野	10%	12%
(5) 海洋土木工学分野	6%	9%
(6) 情報・生体工学分野	16%	17%
(7) 化学生命工学分野	13%	13%
(8) これ以外の分野	7%	8%

## B 1. 高校生アンケート（工学部改革のためのアンケート）

[数値は、回答全体の割合（2A で 1 を選択した 801 名中の割合）]

### 1. あなた自身についての質問

#### A. 性別を教えてください。

(1) 男性	53%	(76%)
(2) 女性	46%	(23%)
(3) その他	1%	( 1%)

#### B. 学年を教えてください。

(1) 1年	33%	(23%)
(2) 2年	53%	(61%)
(3) 3年	14%	(16%)

#### C. 高校での選択コース（未選択の場合は希望）を教えてください。

(1) 理系	71%	(100%)
(2) 文系	22%	( 0%)
(3) その他	7%	( 0%)

### 2. 大学の工学部についての質問

#### A. あなたが志望する大学はどれですか？（複数回答可）

(1) 国立大学工学部	29%,	801名	(84%)
(2) 私立大学工学部	5%,	128名	( 7%)
(3) その他	66%,	1832名	( 9%)

#### B. 鹿児島大学工学部の受験に興味がありますか？

(1) 興味あり（受験したい）	6%	(20%, 114名)
(2) 興味あり（受験は未定）	17%	(38%, 271名)
(3) 興味なし	55%	(25%, 176名)
(4) わからない	22%	(17%)

#### C. 設問Bで1、2を選択した場合、その理由を教えてください。（複数回答可）

(1) 工学の『ものづくり』に興味がある	40%	(40%)
(2) 就職に有利で安定した人生が送れる	19%	(20%)
(3) 研究開発に興味があり新しい製品などを創出したい	18%	(19%)
(4) 資格が取得できる	13%	(12%)
(5) 全国・海外で活躍できる可能性がある	5%	( 5%)
(6) 工学部の教育研究内容が優れている	3%	( 2%)

(7) その他：(自由記述) 2% (2%)

D. 設問Bで3を選択した場合、工学部を敬遠する理由があれば教えてください。(複数回答可)

- |   |           |
|---|-----------|
| (1) 県外や海外で働く可能性があり、<br>地元に残ることが困難だから                    | 14% (23%) |
| (2) 就職しても高収入を得ることが困難で<br>安定した人生を送れないから                  | 14% (15%) |
| (3) 技術革新のスピードが速く、<br>卒業後も学び続けていく必要があるから                 | 8% (7%)   |
| (4) 専門性を活かすためには大学院に進学せねばならず、<br>社会に出る時期が遅くなり学費負担も増加するから | 9% (9%)   |
| (5) その他：(自由記述)  | 55% (46%) |

### 3. 工学の分野についての質問

工学で学んでみたい分野があれば選択してください。(複数回答可)

参考までに、各分野の学問内容や就職先は別紙のとおりです。

- |                    |     |       |
|--------------------|-----|-------|
| (1) 機械工学分野         | 16% | (22%) |
| (2) 電気電子工学分野       | 13% | (19%) |
| (3) 建築学分野          | 20% | (18%) |
| (4) 化学工学分野         | 8%  | (9%)  |
| (5) 海洋土木工学分野       | 7%  | (5%)  |
| (6) 情報・生体工学分野      | 15% | (17%) |
| (7) 化学生命工学分野       | 15% | (8%)  |
| (8) これ以外の分野 (自由記述) | 6%  | (2%)  |

## B 2. 高校生アンケート (建築学科に関するアンケート)

回答者について

学年

(1)1年	31%
(2)2年	57%
(3)3年	12%

進路の志望

(1)文系	22%
(2)理系	64%
(3)未定	8%
(4)その他	6%

A. 建築やまちづくり、インテリア・デザインなどに興味がありますか？

(1) 興味あり-進路として志望する	5%
(2) 興味あり-進路として志望するかは未定	28%
(3) 興味なし	46%
(4) 良くわからない	21%

B. 設問 A で(1)、(2)すなわち[興味あり]を選択した場合、どのような学科/コースで学びたいことを学べると考えますか？(複数選択可)

(1) 工学部等の建築系学科/コース	36%
(2) 生活科学、環境科学等の住居系学科/コース	19%
(3) 芸術系の建築や環境デザイン系の学科/コース	33%
(4) 文系(経済学部, 政策学部等)の都市計画, まちづくり系の学科/コース	10%
(5) その他: 自由記述	2%

C. 設問 A で(1)[興味あり-進路として志望する]を選択した場合、どのような学科の受験を考えますか。(複数選択可)

(1) 工学部等の建築系学科/コース	46%
(2) 生活科学、環境科学等の住居系学科/コース	18%
(3) 芸術系の建築や環境デザイン系の学科/コース	27%
(4) 文系(経済学部, 政策学部等)の都市計画, まちづくり系の学科/コース	8%
(5) その他: 自由記述	1%

D. 設問 C で (1) [工学部等の建築系学科/コース] を選択した場合、どのような志願の仕方 (単願、併願など) を考えますか。(三つまで選択可)

(1) 建築系学科/コースの単願 (複数大学の建築系学科併願を含む)	39%
(2) 理系他学科/コースとの併願	24%
(3) 生活科学、環境科学等の住居系学科/ コースとの併願	11%
(4) 芸術系の建築や環境デザイン系の学科/ コースとの併願	19%
(5) 文系 (経済学部, 政策学部等) の都市計画, まちづくり系学科/コースとの併願	6%
(6) その他 : 自由記述	1%

E. 設問 C で (2) 生活科学系等、(3) 芸術系、(4) 文系、の建築・都市系学科/コースを選択した場合、理系 (工学部) の建築系学科/コースとの併願を考えますか? (一つ選択)

(1) 考える。	28%
(2) 考えない。	29%
(3) どちらとも言えない。	43%

\* (1) を選んだ場合、その理由 (複数選択可)

・ 学びたい分野が近いから	55%
・ 受験の準備がしやすいから	15%
・ 卒業後の希望の進路に進める	19%
・ 自分のレベルに合った志望校を見つけやすい (地元にある等)	7%
・ その他	4%

\* (2) (3) を選んだ場合、その理由 (複数選択可)

・ 学びたい分野が違うから	49%
・ 受験の準備がしにくいから	12%
・ 卒業後の進路が希望と異なる	23%
・ 自分のレベルに合った志望校を見つけにくい (地元がない等)	10%
・ その他	6%

F. 大学を卒業した後の進路について、現時点でどのように考えていますか？（二つまで選択可）

(1) 建設業	13%	
(2) メーカー	18%	
機械		42%
化学・薬品		27%
電気・電気機器等		31%
(3) 商社	4%	
総合商社		62%
専門商社		38%
(4) 小売	3%	
百貨店・スーパー		37%
専門店		50%
コンビニ等		13%
(5) 金融	2%	
銀行・証券		80%
生保・損保等		20%
(6) 設計、コンサルティング・調査	2%	
(7) サービス・インフラ	33%	
不動産		2%
鉄道・航空等		10%
電気・ガス等		1%
観光・レジャー		11%
医療・福祉		45%
教育		31%
(8) ソフトウェア・通信	9%	
ソフトウェア		48%
インターネット		39%
通信		13%
(9) 広告・出版・マスコミ	6%	
放送		23%
新聞		7%
出版		38%
広告		32%
(10) その他（官公庁・公社・団体）	10%	

G. 得意な科目は何ですか？（複数選択可）

(1) 国語	13%
(2) 地理歴史	12%
(3) 公民	3%
(4) 数学 I	11%
(5) 数学 I ・ 数学 A	14%
(6) 数学 II	7%
(7) 数学 II ・ 数学 B	7%
(8) 物理	6%
(9) 化学	6%
(10) 生物	8%
(11) 地学	2%
(12) 外国語	11%

## 資料 1

### 工学部改革のためのアンケート（在学生用）

鹿児島大学工学部の入試や授業に関して、今後の参考にさせていただきたいので、以下の設問 1、2 のアンケートにご協力をお願いします。

※ 回答は、該当する数字を○で囲んでください。

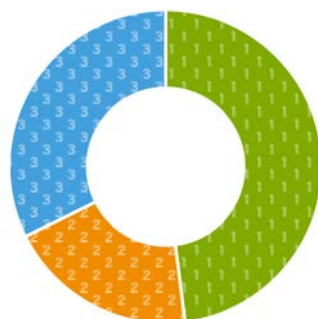
#### 1. 大括り入試の導入と学科配属時期に関する設問

現在工学部では、定員の一部に対して、専門分野を定めずに入学した後、まず工学分野全体の概要を学び、専門分野を決定して配属する制度（大括り入試）の導入を検討しています。

もし入学時に大括り入試が選択できた場合、出願しましたか？

選択肢 (1) 出願した (2) 出願しなかった (3) わからない

回答 1年



■ 1	48%(147)
■ 2	20% (60)
■ 3	32% (99)

2年



■ 1	56%(176)
■ 2	15% (48)
■ 3	29% (92)

#### 2. 融合教育に関する設問

工学部では、少子高齢化、第4次産業革命による産業構造変化などに柔軟に対処できる人材を育成するため、専門分野の体系的修得に加えて、複数専門分野の修得による広視野・柔軟な発想の獲得、工学分野全体の把握による大局的問題解決能力の付与を目的として、

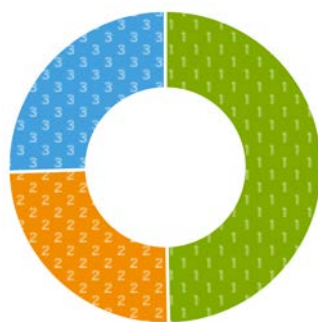


専門分野以外の他分野の授業を履修できる融合教育授業の導入を検討しています。

A. もし融合教育授業が選択できた場合、履修に興味がありますか？

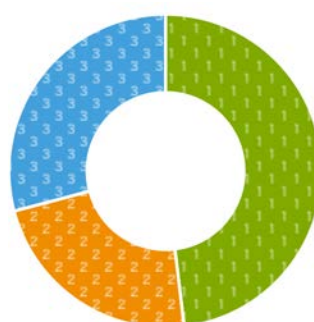
選択肢 (1) 興味ある (2) 興味なし (3) わからない

回答 1年



■ 1 50%(152)  
■ 2 25% (76)  
■ 3 25% (78)

2年



■ 1 48%(152)  
■ 2 23% (72)  
■ 3 29% (92)

B. あなたが自分の専門分野以外で学んでみたい分野があれば、選択してください。

(複数回答可)

参考までに、各分野の就職分野は以下のとおりです。

- ・機械工学分野 輸送機器・機械、電気機器、電力・ガス業、公務員
- ・電気電子分野 電気機器、電力・通信、輸送機器、放送局・公務員
- ・建築学分野 建築設計、施工管理、建築行政、専門技術、企画開発
- ・化学工学分野 化学、プラント、機械、環境、材料、電子、医療・食品
- ・海洋土木分野 建設業、設計・調査、公務員、土木関係
- ・情報・生体分野 情報処理、情報通信、システム開発、公務員
- ・化学生命分野 化学、製薬・医療、食品・バイオ、金属・材料、機械

具体的な企業はHPを参照ください →

- 選択肢 (1) 機械工学分野 (2) 電気電子工学分野  
(3) 建築学分野 (4) 化学工学分野  
(5) 海洋土木工学分野 (6) 情報・生体工学分野  
(7) 化学生命工学分野 (8) これ以外の分野

回答 1年



■ 1	12% (59)
■ 2	12% (58)
■ 3	23%(109)
■ 4	10% (47)
■ 5	6% (31)
■ 6	16% (78)
■ 7	13% (65)
■ 8	7% (36)

2年



■ 1	11% (59)
■ 2	9% (46)
■ 3	21%(112)
■ 4	12% (61)
■ 5	9% (47)
■ 6	17% (90)
■ 7	13% (67)
■ 8	8% (43)

以上、ご協力、ありがとうございました。

## 工学部改革のためのアンケート（高校生用）

鹿児島大学工学部では、「ものづくり」において地域社会及び国際社会で活躍できる技術者・研究者の育成を目指し、機械工学、電気電子工学、建築学、化学工学、海洋土木工学、情報・生体工学、化学生命工学の7分野で教育・研究しています。

鹿児島大学工学部の入試や教育に関して、今後の参考にさせていただきたいので、以下の設問1～3のアンケートにご協力をお願いします。

※ 回答は、該当する数字の前のにチェックしてください。

## 1. あなた自身についての質問

A. 性別を教えてください。

(1) 男性       (2) 女性       (3) その他

B. 学年を教えてください。

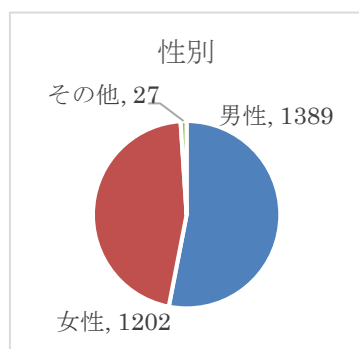
(1) 1年       (2) 2年       (3) 3年

C. 高校での選択コース（未選択の場合は希望）を教えてください。

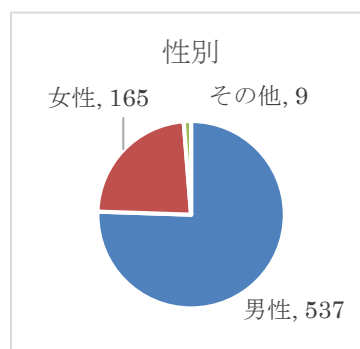
(1) 理系       (2) 文系       (3) その他

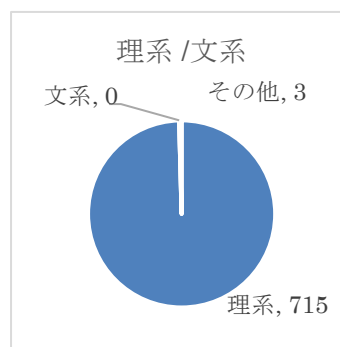
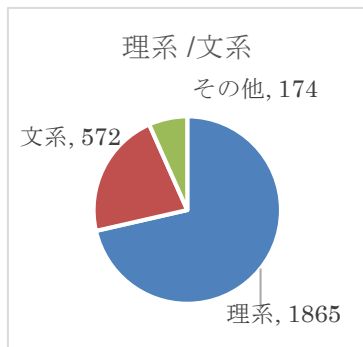
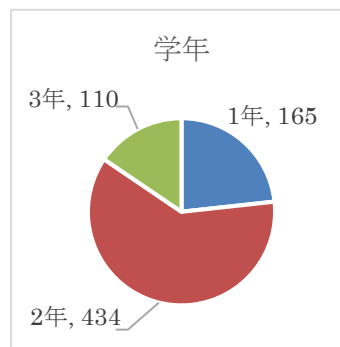
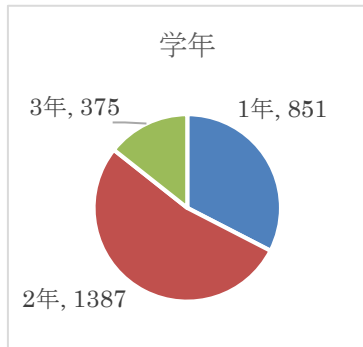
回答

全体



国立大学工学部志望のみ





## 2. 大学の工学部についての質問

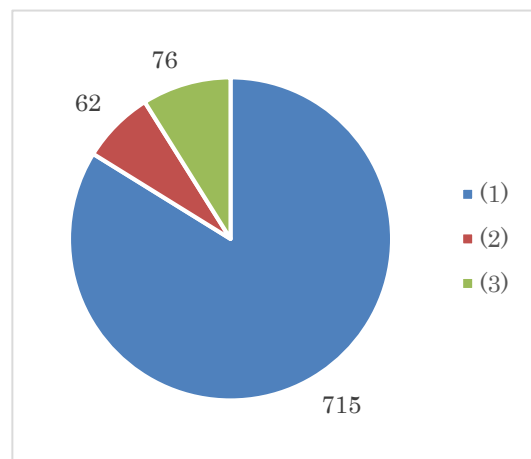
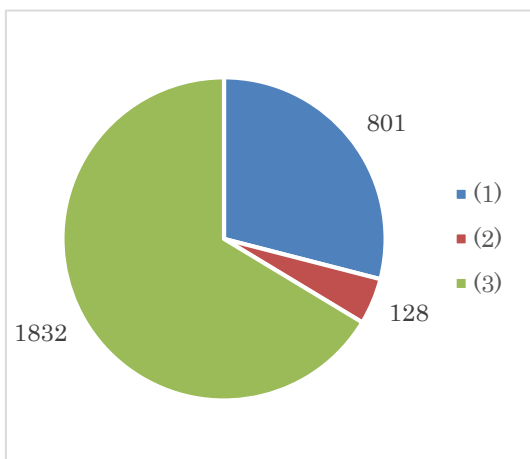
A. あなたが志望する大学はどれですか？（複数回答可）

- (1) 国立大学工学部     (2) 私立大学工学部     (3) その他

回答

全体

国立大学工学部志望のみ



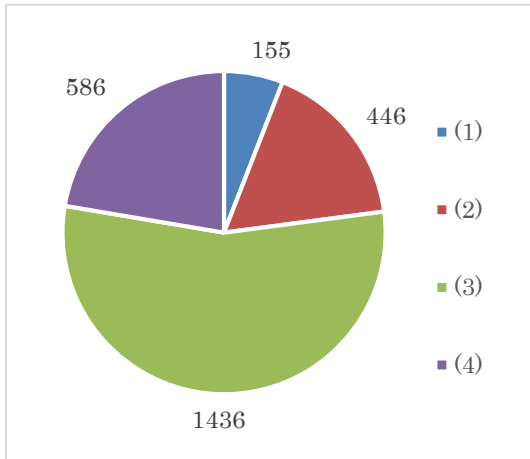
B. 鹿児島大学工学部の受験に興味がありますか？

- (1) 興味あり（受験したい）     (2) 興味あり（受験は未定）

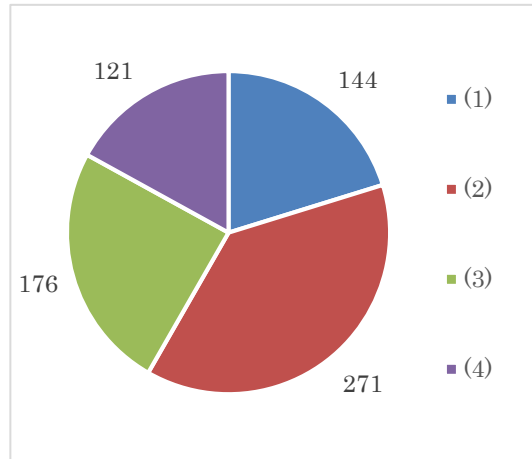
(3) 興味なし

(4) わからない

回答 全体



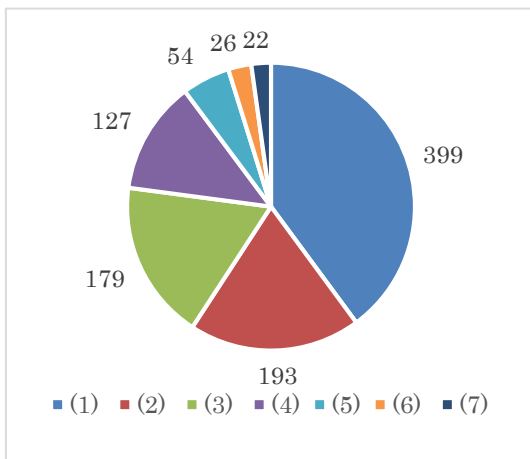
国立大学工学部志望のみ



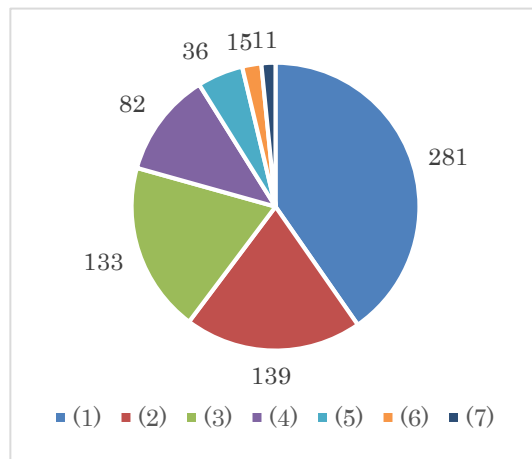
C. 設問Bで1、2を選択した場合、その理由を教えてください。(複数回答可)

- (1) 工学の『ものづくり』に興味がある
- (2) 就職に有利で安定した人生が送れる
- (3) 研究開発に興味があり新しい製品などを創出したい
- (4) 資格が取得できる
- (5) 全国・海外で活躍できる可能性がある
- (6) 工学部の教育研究内容が優れている
- (7) その他：(自由記述)

回答 全体



国立大学工学部志望のみ

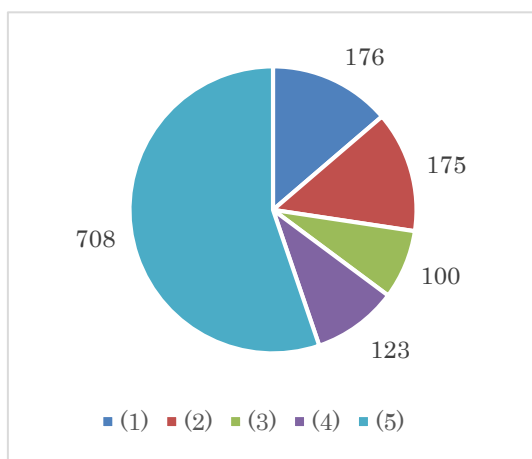


D. 設問Bで3を選択した場合、工学部を敬遠する理由があれば教えてください。  
(複数回答可)

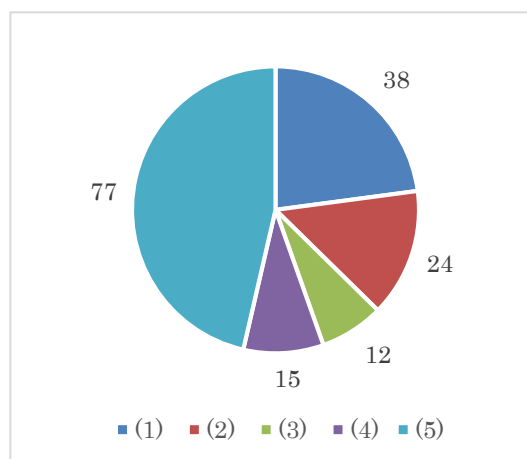
- (1) 県外や海外で働く可能性があり、地元に残ることが困難だから
- (2) 就職しても高収入を得ることが困難で安定した人生を送れないから
- (3) 技術革新のスピードが速く、卒業後も学び続けていく必要があるから
- (4) 専門性を活かすためには大学院に進学せねばならず、社会に出る時期が遅くなり学費負担も増加するから
- (5) その他：(自由記述)

回答

全体



国立大学工学部志望のみ



### 3. 工学の分野についての質問

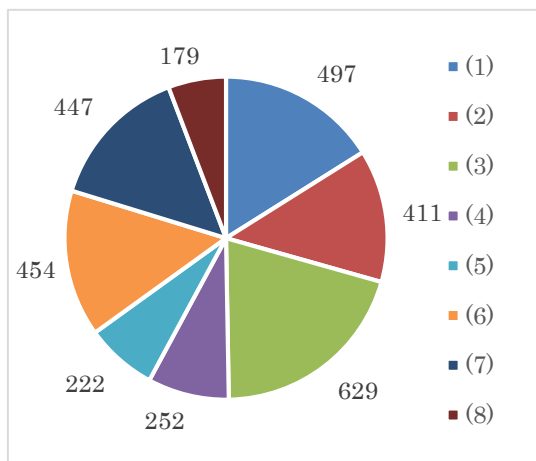
工学で学んでみたい分野があれば選択してください。(複数回答可)

参考までに、各分野の学問内容や就職先は別紙のとおりです。

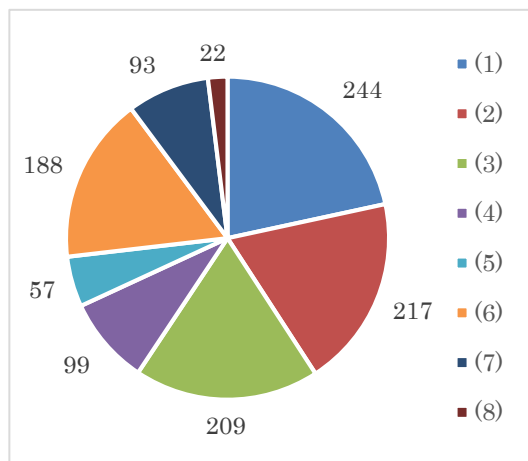
- (1) 機械工学分野
- (2) 電気電子工学分野
- (3) 建築学分野
- (4) 化学工学分野
- (5) 海洋土木工学分野
- (6) 情報・生体工学分野
- (7) 化学生命工学分野
- (8) これ以外の分野 (自由記述)

回答

全体



国立大学工学部志望のみ



以上、ご協力、ありがとうございました。

## 建築学科に関するアンケート（高校生用）

建築は、人間が活動する空間を秩序づけて創造する総合的な技術で、工学から芸術に亘る広い範囲を対象とします。鹿児島大学工学部建築学科は、このような広範な技術を学び応用することによって、人類の建築文化遺産を継承し、地球環境の保全に配慮しながら、建築空間と生活環境の創造に貢献できる人材を育成しています。

以上のような建築学科の入試や教育に関して、今後の参考にさせていただきたいので、枠内の項目を記入のうえ、以下の設問 A~H のアンケートにご協力をお願いします。

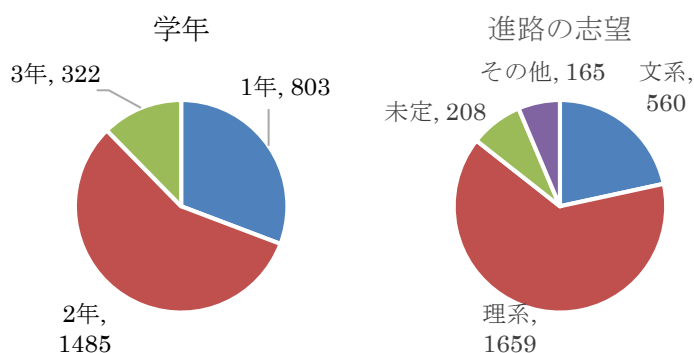
\*回答は、該当する数字の前の  にチェックしてください。

## 回答者について

学年：  (1)1年  (2)2年  (3)3年

進路の志望：  (1)文系  (2)理系  (3)未定  (4)その他

## 回答

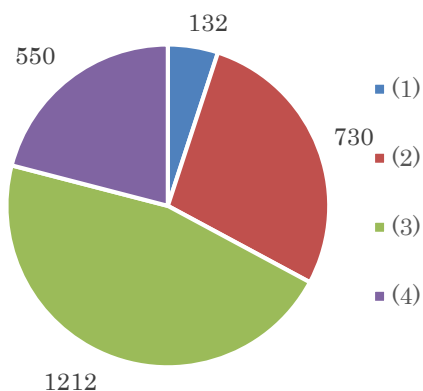


## A. 建築やまちづくり、インテリア・デザインなどに興味がありますか？

- (1) 興味あり-進路として志望する
- (2) 興味あり-進路として志望するかは未定
- (3) 興味なし
- (4) 良くわからない



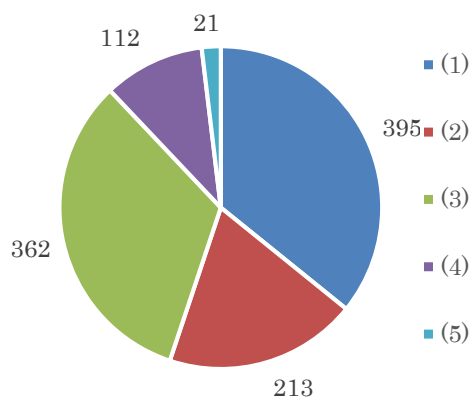
回答



B. 設問Aで(1)、(2)すなわち[興味あり]を選択した場合、どのような学科/コースで学びたいことを学べると考えますか？(複数選択可)

- (1) 工学部等の建築系学科/コース
- (2) 生活科学、環境科学等の住居系学科/コース
- (3) 芸術系の建築や環境デザイン系の学科/コース
- (4) 文系（経済学部,政策学部等）の都市計画,まちづくり系の学科/コース
- (5) その他：自由記述

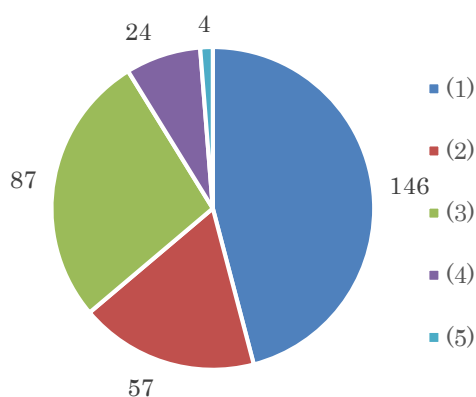
回答



C. 設問Aで(1) [興味あり-進路として志望する] を選択した場合、どのような学科の受験を  
考えますか。(複数選択可)

- (1) 工学部等の建築系学科/コース
- (2) 生活科学、環境科学等の住居系学科/コース
- (3) 芸術系の建築や環境デザイン系の学科/コース
- (4) 文系(経済学部,政策学部等)の都市計画,まちづくり系の学科/コース
- (5) その他:自由記述

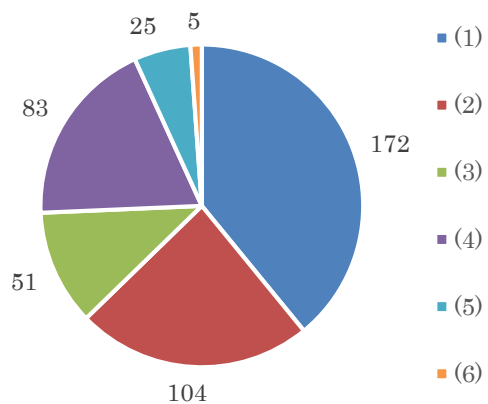
回答



D. 設問Cで(1) [工学部等の建築系学科/コース] を選択した場合、どのような志願の仕方(単願、併願など)を考えますか。(三つまで選択可)

- (1) 建築系学科/コースの単願(複数大学の建築系学科併願を含む)
- (2) 理系他学科/コースとの併願
- (3) 生活科学、環境科学等の住居系学科/コースとの併願
- (4) 芸術系の建築や環境デザイン系の学科/コースとの併願
- (5) 文系(経済学部,政策学部等)の都市計画,まちづくり系学科/コースとの併願
- (6) その他:自由記述

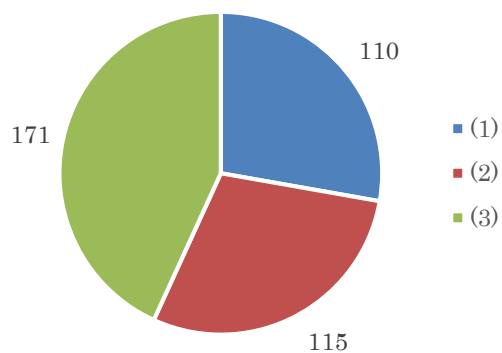
回答



E. 設問Cで(2)生活科学系等、(3)芸術系、(4)文系、の建築・都市系学科/コースを選択した場合、理系(工学部)の建築系学科/コースとの併願を考えますか？(一つ選択)

- (1) 考える。
- (2) 考えない。
- (3) どちらとも言えない。

回答

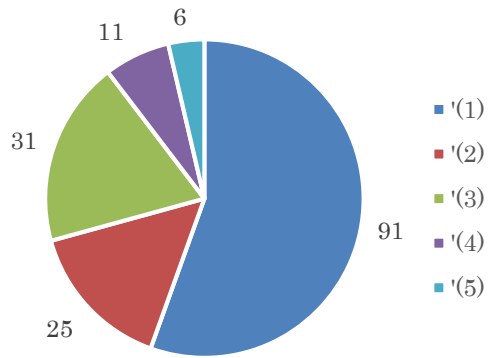


\* (1) を選んだ場合、その理由(複数選択可)

- ・学びたい分野が近いから
- ・受験の準備がしやすいから
- ・卒業後の希望の進路に進める

- ・自分のレベルに合った志望校を見つけやすい（地元にある等）
- ・その他

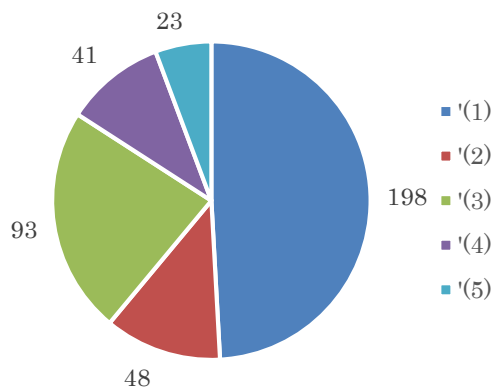
回答



\* (2) (3) を選んだ場合、その理由（複数選択可）

- ・学びたい分野が違うから
- ・受験の準備がしにくいから
- ・卒業後の進路が希望と異なる
- ・自分のレベルに合った志望校を見つけにくい（地元がない等）
- ・その他

回答

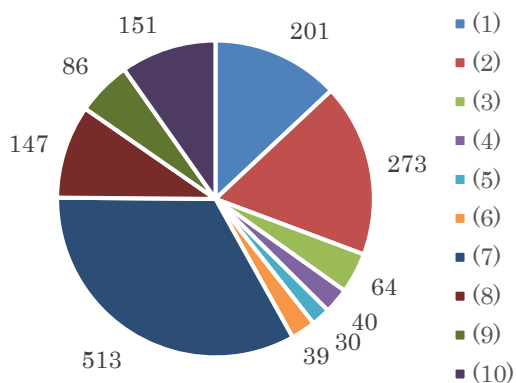


F. 大学を卒業した後の進路について、現時点でどのように考えていますか？

(二つまで選択可)

- (1) 建設業
- (2) メーカー  機械  化学・薬品  電気・電気機器等
- (3) 商社  総合商社  専門商社
- (4) 小売  百貨店・スーパー  専門店  コンビニ等
- (5) 金融  銀行・証券  生保・損保等
- (6) 設計、コンサルティング・調査
- (7) サービス・インフラ  不動産  鉄道・航空等  電気・ガス等  
 観光・レジャー  医療・福祉  教育
- (8) ソフトウェア・通信  ソフトウェア  インターネット  通信
- (9) 広告・出版・マスコミ  放送  新聞  出版  広告
- (10) その他  官公庁・公社・団体

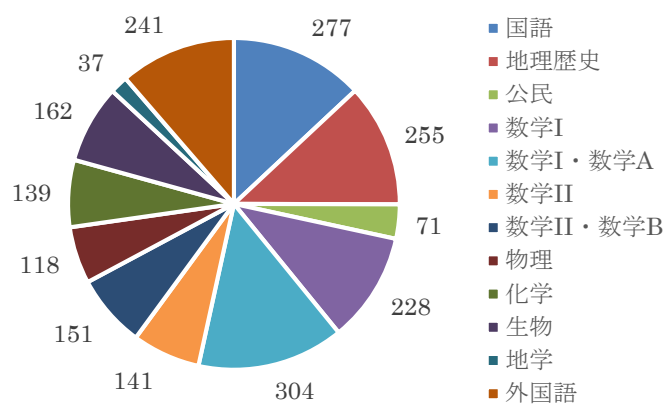
回答



G. 得意な科目は何ですか？（複数選択可）

- (1) 国語  (2) 地理歴史  (3) 公民  (4) 数学 I
- (5) 数学 I・数学 A  (6) 数学 II  (7) 数学 II・数学 B
- (8) 物理  (9) 化学  (10) 生物  (11) 地学
- (12) 外国語

# 回答



## 資料4

平成26年度～平成30年度 工学部の入学者数、志願者数等の実績							
(上段：志願者数/入学者数、下段：志願倍率/定員充足率)							
学科	入学定員	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平均値
機械工学科	94名	255/99	266/96	256/99	220/95	289/95	257.2/96.8
		2.7/1.1	2.8/1.0	2.7/1.1	2.3/1.0	3.1/1.0	2.7/1.0
電気電子工学科	78名	219/82	188/82	184/86	174/82	244/82	201.8/82.8
		2.8/1.1	2.4/1.0	2.4/1.1	2.2/1.1	3.1/1.1	2.6/1.1
建築学科	55名	218/59	186/63	189/59	185/58	249/58	205.4/59.4
		4.0/1.1	3.4/1.1	3.4/1.1	3.4/1.1	4.5/1.1	3.7/1.1
環境化学プロセス工学科	35名	90/38	86/38	98/38	78/37	79/36	86.2/37.4
		2.6/1.1	2.5/1.1	2.8/1.1	2.2/1.1	2.3/1.0	2.5/1.1
海洋土木工学科	48名	172/50	116/48	150/48	153/51	118/49	141.8/49.2
		3.6/1.0	2.4/1.0	3.1/1.0	3.2/1.1	2.5/1.0	3.0/1.0
情報生体システム工学科	80名	184/82	146/88	222/85	224/84	302/84	215.6/84.6
		2.3/1.0	1.8/1.1	2.8/1.1	2.8/1.1	3.8/1.1	2.7/1.1
化学生命工学科	50名	228/51	164/54	183/53	144/53	152/51	174.2/52.4
		4.6/1.0	3.3/1.1	3.7/1.1	2.9/1.1	3.0/1.0	3.5/1.1
合 計	440名	1366/461	1152/469	1282/468	1178/460	1433/455	1282.2/462.6
		3.1/1.1	2.6/1.1	2.9/1.1	2.7/1.1	3.3/1.0	2.9/1.1

## 資料5

平成26年度～平成30年度 工学部（前期日程）の入学者数、志願者数等の実績							
(上段：志願者数/入学者数、下段：志願倍率/定員充足率)							
学科	入学定員	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平均値
機械工学科	63名	127/67	134/67	141/66	99/61	119/67	124/65.6
		2.0/1.1	2.1/1.1	2.2/1.0	1.6/1.0	1.9/1.1	2.0/1.1
電気電子工学科	56名	121/63	109/62	102/69	98/59	114/59	108.8/62.4
		2.2/1.1	1.9/1.1	1.8/1.2	1.8/1.1	2.0/1.1	1.9/1.1
建築学科	44名	125/49	128/51	127/49	119/47	145/47	128.8/48.6
		2.8/1.1	2.9/1.2	2.9/1.1	2.7/1.1	3.3/1.1	2.9/1.1
環境化学プロセス工学科	26名	54/29	50/28	43/26	38/26	35/30	44/27.8
		2.1/1.1	1.9/1.1	1.7/1.0	1.5/1.0	1.3/1.2	1.7/1.1
海洋土木工学科	31名	92/32	58/32	83/32	68/31	43/30	68.8/31.4
		3.0/1.0	1.9/1.0	2.7/1.0	2.2/1.0	1.4/1.0	2.2/1.0
情報生体システム工学科	60名	101/67	86/68	135/63	117/64	168/62	121.4/64.8
		1.7/1.1	1.4/1.1	2.3/1.0	2.0/1.1	2.8/1.0	2.0/1.1
化学生命工学科	40名 H26:35名	108/37	101/41	91/40	77/39	76/40	90.6/39.4
		3.1/1.1	2.5/1.0	2.3/1.0	1.9/1.0	1.9/1.0	2.3/1.0
合 計	320名 H26:315名	728/344	666/349	722/345	616/327	700/335	686.4/340
		2.3/1.1	2.1/1.1	2.3/1.0	1.9/1.0	2.2/1.1	2.2/1.1

## 資料6

工学部の就職者数、就職率の推移																
専攻名 修了年度	平成25年度			平成26年度			平成27年度			平成28年度			平成29年度			平均就職率
	就職希望者数	就職者数	就職率	就職希望者数	就職者数	就職率	就職希望者数	就職者数	就職率	就職希望者数	就職者数	就職率	就職希望者数	就職者数	就職率	
機械工学	37	36	97.3	32	32	100.0	27	27	100.0	49	49	100.0	41	39	95.1	98.4%
電気電子工学	19	19	100.0	34	34	100.0	30	30	100.0	26	26	100.0	27	27	100.0	100.0%
建築学	27	27	100.0	25	25	100.0	19	19	100.0	29	29	100.0	22	22	100.0	100.0%
環境科学プロセス工学科	14	14	100.0	13	13	100.0	14	14	100.0	10	10	100.0	15	15	100.0	100.0%
海洋土木工学	23	23	100.0	40	40	100.0	24	24	100.0	25	25	100.0	35	34	97.1	99.3%
情報生体システム工学	27	27	100.0	28	26	92.9	27	27	100.0	29	29	100.0	36	35	97.2	98.0%
化学生命工学科	20	19	95.0	19	19	100.0	17	17	100.0	21	21	100.0	13	13	100.0	98.9%
合 計	167	165		191	189		158	158		189	189		189	185		99.1%
平均就職率	98.8%			99.0%			100.0%			100.0%			97.9%			



## 資料7

		平成25年度～平成29年度 工学部卒業生の就職状況																	
学科名	卒業年度	就職者数	内 訳																
			農業・林業	鉱業・採石業・建設業	製造業	電気・ガス・水道	情報通信業	運輸業、郵便業	卸小売業	金融・保険業	技術サービス業	学術研究、専門・技術サービス業	宿泊・飲食・生活関連サービス業	教育学習支援業	複合サービス事業	国家及び地方公務員（教員を除く）	小中等高等学校教員	左記以外	
機械工学科	H25	36	0	6	17	0	1	0	1	0	4	0	1	0	2	0	4		
	H26	32	0	2	20	1	0	0	2	0	1	0	0	0	1	1	4		
	H27	27	0	2	18	1	0	1	0	0	1	1	0	0	1	0	2		
	H28	49	0	1	22	1	4	2	4	1	3	1	0	0	4	1	5		
	H29	39	0	4	23	0	1	0	1	0	5	0	0	0	3	0	2		
電気電子工学科	H25	19	0	3	9	1	1	0	0	1	0	0	0	1	2	0	1		
	H26	34	0	6	10	0	11	1	0	0	2	0	0	0	2	0	2		
	H27	30	0	4	13	1	7	0	1	0	2	0	0	0	2	0	0		
	H28	26	0	3	7	0	8	1	1	0	2	0	0	0	2	0	2		
	H29	27	0	2	14	1	7	0	0	0	2	0	0	0	0	0	1		
建築学科	H25	27	0	15	4	0	0	0	0	0	3	0	0	0	4	0	1		
	H26	25	0	18	0	0	0	0	0	1	2	0	0	0	3	0	1		
	H27	19	0	15	1	0	0	0	0	0	2	0	0	0	1	0	0		
	H28	29	0	16	2	0	0	0	0	0	2	0	0	0	7	0	2		
	H29	22	0	15	2	0	0	0	1	0	1	1	0	0	2	0	0		
環境科学プロセス工学科	H25	14	0	4	3	1	0	0	0	2	3	0	1	0	0	0	0		
	H26	13	0	2	4	1	1	0	4	0	0	0	0	0	0	0	1		
	H27	14	0	3	6	1	1	0	0	0	1	0	0	0	2	0	0		
	H28	10	0	2	3	1	0	1	1	0	1	0	0	0	1	0	0		
	H29	15	0	5	5	0	0	1	1	0	2	1	0	0	0	0	0		
海洋土木工学科	H25	23	0	5	1	0	1	0	1	0	6	0	0	0	9	0	0		
	H26	40	0	13	2	0	0	1	2	0	9	0	0	0	13	0	0		
	H27	24	0	7	1	0	0	0	0	1	5	0	0	0	7	0	3		
	H28	25	0	13	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	9	1	0		
	H29	34	0	11	1	0	0	1	0	0	5	1	0	0	13	0	2		
情報生体システム工学科	H25	27	0	1	2	0	17	1	1	1	1	0	1	0	0	0	2		
	H26	26	0	0	3	0	9	0	5	1	0	2	0	0	3	0	3		
	H27	27	0	1	2	0	16	1	0	2	1	0	0	0	0	0	4		
	H28	29	0	0	4	1	11	1	1	3	2	0	0	0	3	0	3		
	H29	35	0	2	2	0	21	0	1	1	1	0	0	0	4	0	3		
化学生命工学科	H25	19	0	1	7	0	2	0	3	2	2	0	0	0	0	0	2		
	H26	19	0	2	7	0	0	1	4	1	0	0	0	0	2	1	1		
	H27	17	0	2	2	0	4	0	0	1	3	0	0	0	2	0	3		
	H28	21	0	0	8	2	1	0	6	0	1	0	0	0	2	0	1		
	H29	13	0	0	6	0	1	1	1	0	1	0	0	0	2	0	1		